

# 事故報告書

フルーツ・シャトーよいち

総合施設長	副施設長	援助課長	課長補佐	医務課長	相談員	担当

フガナ	●●●●	男 <input checked="" type="radio"/> 女 <input type="radio"/>	要介護3	移動	<input type="checkbox"/> 独歩 <input checked="" type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> 杖歩行 <input type="checkbox"/> 車椅子 <input type="checkbox"/> その他 ( )
本人氏名	●●●● 様	86 歳			
報告者	●●●●			発生(発見)日時	平成25年07月05日(金) 14:00 分頃

場所	<input checked="" type="checkbox"/> 居室 <input type="checkbox"/> ホール <input type="checkbox"/> 浴室 <input type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> 拠点フロア <input type="checkbox"/> 廊下 <input type="checkbox"/> 階段 <input type="checkbox"/> 屋外 <input type="checkbox"/> 送迎車内 <input type="checkbox"/> その他(本人のベッドの足元)
----	--

状況	<input checked="" type="checkbox"/> 転倒 <input type="checkbox"/> 転落 <input type="checkbox"/> 誤食 <input type="checkbox"/> 誤嚥 <input type="checkbox"/> 誤薬 <input type="checkbox"/> トラブル <input type="checkbox"/> 単独外出 <input type="checkbox"/> 介護中 <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> その他 ( )
	<p>他入居者の排泄介助の為、職員が居室訪室すると、ベッドの足元で足が入り口側、頭が窓側を向き、両肘・両手のひらが床についた状態で発見する。本人どうしたかったのかという質問に拠点に行きたかったと話される。拠点見守りをしていた職員が、転倒5分前に居室で変わり無く休んでいる事を確認していた。</p> <p>(施設内連絡)</p> <p>平成25年7月4日 14:05 ●●主任援助員より副施設長に転倒の件、口頭にて報告する。            14:06 ●●主任援助員より援助課長補佐に転倒の件、口頭にて報告する。            14:30 ●●主任援助員より総合施設長に転倒の件、口頭にて報告する。            平成25年7月5日 07:30 ●●援助員より援助課長に転倒の件、口頭にて報告する。</p>

症状	<input checked="" type="checkbox"/> 無傷 <input type="checkbox"/> 表皮剥離 <input type="checkbox"/> 擦過 <input type="checkbox"/> 切傷 <input type="checkbox"/> 内出血 <input type="checkbox"/> 火傷 <input type="checkbox"/> 腫れ <input type="checkbox"/> 変色 <input type="checkbox"/> 熱感 <input type="checkbox"/> その他 ( )	部位	
	本人に痛み問うも「なんともない。」と話され、その後身体観察するも変わり無し。16時10分に再度痛み確認、身体観察するも変わり無し。		

対応	<input checked="" type="checkbox"/> 様子観察 <input type="checkbox"/> 湿布 <input type="checkbox"/> 冷却 <input type="checkbox"/> 吐かせる <input type="checkbox"/> 吸引 <input type="checkbox"/> 止血 <input type="checkbox"/> 受診 <input type="checkbox"/> その他 ( )
	<p>転倒後、身体を起こし本人に痛みの確認するも無いと話される。2人介助で立ってもらい再度痛み確認・身体観察する。変色など見られず歩行状態も安定し痛みも無い。その後医務に連絡し、痛み・外傷ない事を報告する。そのまま様子観察の指示有り。歩行器で拠点に誘導しソファーに座り過ごされる。</p>

バイタルサイン	体温	36.4 °C	血圧	120 / 80 mmHg	脈拍	78 回/分	SP02	96 %	計測時間	15:40
---------	----	---------	----	---------------	----	--------	------	------	------	-------

要因・原因	<input type="checkbox"/> 見守り不足 <input type="checkbox"/> 知識・技術不足 <input type="checkbox"/> ルール不遵守 <input type="checkbox"/> 情報不足 <input checked="" type="checkbox"/> 環境・設備 <input type="checkbox"/> 設備・点検不足 <input type="checkbox"/> 人為的問題 <input type="checkbox"/> その他 ( )
	<p>1人でベッドから立ち上がりセッティングされていた歩行器を使用し拠点に行こうとするが、立ち上がった時に歩行器のグリップの位置が高く、掴みづらかったせいか、本人も「掴まらないで歩いた。」と話され、掴まらないまま歩行したと思われる。転倒の時間帯は薬の効き目がきれてくる頃でもあり、すり足歩行で歩行した為バランスを崩して転倒したと思われる。</p>

事故防止対策	<p>立ち上がりやすいように歩行器の高さを下げて立ち上がる時と歩行時の状況を確認した。特に問題なかった為、今後は歩行器の高さを立ち上がった時に手が届きやすい位置に設置し様子を見る。            パーキンソン病で歩行中すり足歩行があり、何かまたぐ物があれば数歩足の運びがよくなる為、本人が歩行する位置にビニールテープを床に貼り、そのテープをまたいで歩いてもらえるよう促し様子を見る。            清拭を畳む作業をする時は、●●氏が居室で休んでいる時見守りできる位置で行なう。            ●●さんは理解できる方の為、居室へ誘導した職員は、用事がある時や歩行する時等必ずナースコール使用促す事を継続する。</p>
	<p>カフパンスの必要性について <input checked="" type="checkbox"/>不要 <input type="checkbox"/>必要</p>

家族への説明	平成25年07月05日(金)	説明方法	<input type="checkbox"/> 面会 <input checked="" type="checkbox"/> 電話	説明職員	●●●●
	家族氏名	●●●●氏		続柄	長女
	電話にて居室内で尻餅をついた旨と今後の対応を報告・謝罪する。娘様より「何もいつもの事ですから。気にしないでください。すみませんね、迷惑掛けて。よろしくお願ひします。」とお話あり。				